

世界を彩る、日本ピグメント

暮らしに色があるかぎり、
わたしたちは、提供しつづけます。

Business Report

第81期 報告書 2016.4.1—2017.3.31



日本ピグメント株式会社

証券コード：4119



株主のみなさまへ

ごあいさつ

株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、第81期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）の概況をここにご報告申し上げます。

当社グループでは、2016年3月に中期経営計画「Challenge 2020」ーボードレス化への再編と新生へのステップーを公表致しました。2016年から2020年の5年間で「次世代の柱を確立し、持続的成長への土台を固める5年」としており、3つの基本方針「①次世代に向けた成長戦略への舵取り」「②経営基盤の強化」「③ブランド価値向上」を掲げ推進しております。

当社グループは、中期経営計画「Challenge 2020」の2年目として、経営基盤を充実させていく所存です。株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月



取締役社長 加藤 龍巳

私ども日本ピグメントは、次の4つの理念を使命として、色彩関連製品を提供するとともに、人と自然環境の融合を理念においた製品作りを目指しております。

経営理念

1. 色彩を通じて、ゆとりのある生活をみなさまに提供し、社会の繁栄に寄与します。
2. グローバリゼーションの中で、地域社会との調和と共生を目指します。
3. 技術革新・サービス向上に努め、お客様のニーズに合った環境に配慮した高品質の製品作りを目指します。
4. 個性溢れる人材を育成し、創造性豊かで活力のある企業集団を目指します。

事業の概況



第81期の業績

【日本】

国内部門別の概況として

樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチック(電装コネクタなど)を中心に底堅く推移致しました。

樹脂用着色剤部門は、一部の自動車産業向け(バンパー等外装品、インパネ・ドアトリム等内装品など)やトイレタリー関連(シャンプー等のプラスチック容器など)、および家電産業向けフィルム等(フラットパネル・ディスプレイ等のフィルム部材など)を中心に比較的堅調に推移し、概ね想定どおりとなりました。

最後に加工カラー部門は、一部の自動車産業向け(内装用表皮材など)や建材産業向け(シーリング材、床材など)が比較的堅調に推移し、また、液体分散体(液晶パネルカラーフィルターの部材)が想定以上に堅調であったことから、全体としては想定を上回る結果となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は248億6千9百万円(前期比4.4%増)、営業利益は販売構成の変化や経費削減効果もあり6億2千5百万円(前期比431.7%増)となりました。

【東南アジア】海外子会社3社:シンガポール、マレーシア(2拠点)、インドネシア

東南アジアは、タイ、中国向けの受注が伸び悩んだものの、インドネシアにおいては自動車産業向けが車輛のモデルチェンジや新車投入があった影響で受注が増加しました。当連結会計年度の売上高は170億2千8百万円(前期比5.1%増)、営業利益は4億6千8百万円(前期比161.7%増)となりました。

【その他】

その他は、中国での日系自動車関連の受注が伸び悩み、当連結会計年度の売上高は7億3千3百万円(前期比28.5%減)、営業損失は4千7百万円(前期営業損失10百万円)となりました。

【全体】

当社グループの当連結会計年度の売上高は426億3千1百万円(前期比3.9%増)、経常利益は10億8千9百万円(前期比295.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は6億9千1百万円(前期比367.7%増)となりました。



今後の見通し

今後の我が国経済の見通しにつきましては、政府による経済政策、日銀の金融政策の継続を背景として緩やかな回復基調にありますが、為替相場や原油価格の変動、海外経済の低迷などの下振れリスクが懸念されます。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画「Challenge 2020」の2年目として自社製品の拡販・採算性の改善などに引き続き注力し、当社グループの通期連結業績は次のとおり予想しております。



通期の連結業績予想 (2017年5月12日公表)

売上高 **43,000**百万円

営業利益 **1,050**百万円

経常利益 **1,100**百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益 **700**百万円

期末配当金(予想) **80**円

※平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金および年間配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の1株当たり期末配当金は8円となり、1株当たり年間配当金は8円となります。

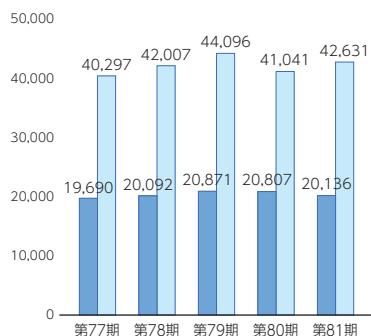
連結財務諸表

●財務ハイライト

第81期は国内においては主に自動車産業・家電産業向け、海外においてはインドネシアが堅調に推移し、増収増益となりました。

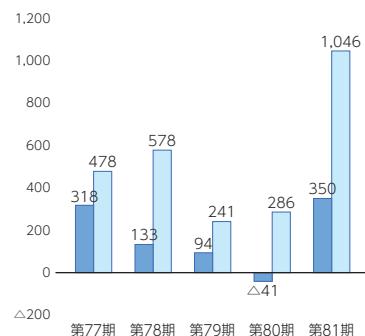
売上高(百万円)

■第2四半期累計(中間期) □通期



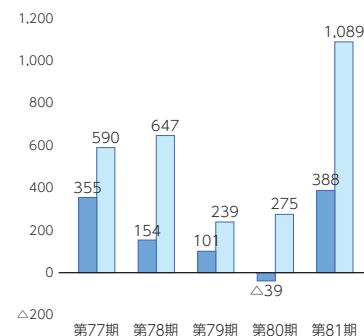
営業利益(百万円)

■第2四半期累計(中間期) □通期



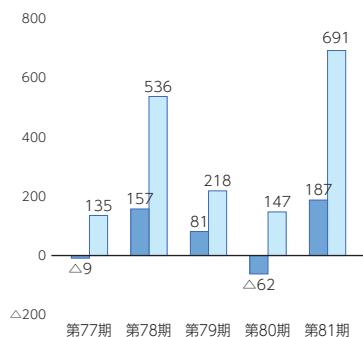
経常利益(百万円)

■第2四半期累計(中間期) □通期



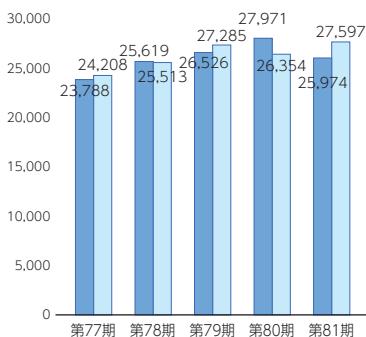
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)

■第2四半期累計(中間期) □通期



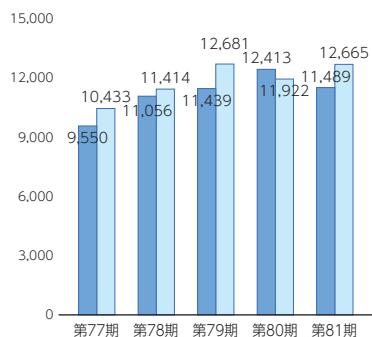
総資産(百万円)

■第2四半期(中間期) □通期



純資産(百万円)

■第2四半期(中間期) □通期



●連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度末 2017年3月31日現在	前連結会計年度末 2016年3月31日現在
資産の部		
1 流動資産	14,079	13,264
2 固定資産	13,518	13,089
有形固定資産	8,281	8,286
無形固定資産	63	33
投資その他の資産	5,172	4,769
資産合計	27,597	26,354
負債の部		
3 流動負債	11,248	10,738
固定負債	3,683	3,693
負債合計	14,932	14,432
純資産の部		
株主資本	11,251	10,638
資本金	1,481	1,481
資本剰余金	1,047	1,047
利益剰余金	8,738	8,126
自己株式	△16	△16
その他の包括利益累計額	489	367
非支配株主持分	923	916
4 純資産合計	12,665	11,922
負債純資産合計	27,597	26,354

Point.1 流動資産について

流動資産は14,079百万円と全期末の13,264百万円に比べ814百万円の増加となりました。この主な要因は受取手形及び売掛金が583百万円、製品が256百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

Point.2 固定資産について

固定資産は13,518百万円と前期末の13,089百万円に比べ428百万円の増加となりました。この主な要因は投資有価証券が332百万円、退職給付に係る資産が115百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

Point.3 流動負債について

流動負債は11,248百万円と全期末の10,738百万円に比べ510百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が416百万円、未払法人税等が171百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

Point.4 純資産について

純資産合計は12,665百万円と前期末の11,922百万円に比べ742百万円の増加となりました。この主な要因は利益剰余金が612百万円、その他有価証券評価差額金が412百万円それぞれ増加し、為替換算調整勘定が374百万円減少したことなどによるものです。

連結財務諸表

●連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当連結会計年度 自 2016年4月 1日 至 2017年3月31日	前連結会計年度 自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日
売上高	42,631	41,041
売上原価	38,682	37,817
売上総利益	3,948	3,223
販売費及び一般管理費	2,902	2,937
4 営業利益	1,046	286
営業外収益	235	212
営業外費用	192	223
経常利益	1,089	275
特別利益	77	42
特別損失	98	1
税金等調整前当期純利益	1,067	316
法人税、住民税及び事業税	300	118
法人税等調整額	18	26
非支配株主に帰属する当期純利益	57	23
親会社株主に帰属する当期純利益	691	147

Point.4 営業利益について

営業利益は、売上高が全体として予想を上回ったことに加え販売構成の変化や経費削減効果もあり前期と比べ760百万円の増加となりました。

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当連結会計年度 自 2016年4月 1日 至 2017年3月31日	前連結会計年度 自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日
5 営業活動による キャッシュ・フロー	1,096	343
6 投資活動による キャッシュ・フロー	△757	△321
7 財務活動による キャッシュ・フロー	△319	△178
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△52	△179
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△32	△335
現金及び現金同等物の 期首残高	1,746	2,081
現金及び現金同等物の 期末残高	1,713	1,746

Point.5 営業活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計年度において営業活動による資金の収入は前期と比べ753百万円増加し、1,096百万円となりました。これは、売上債権の増減及び未払消費税等の増加などによるものです。

Point.6 投資活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計年度において投資活動による資金の支出は前期と比べ436百万円増加し、757百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出が905百万円発生したことなどによるものです。

Point.7 財務活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計年度において財務活動による資金の減少は319百万円となりました。前期は178百万円の減少でした。

会社の概要 (2017年3月31日現在)

●概要

- **会社名** 日本ピグメント株式会社
(Nippon Pigment Company Limited)
- **本社所在地** 東京都千代田区神田錦町三丁目20番地
- **代表者** 取締役社長 加藤 龍巳
- **創業** 1925年(大正14年)
- **事業内容** 当社グループは各種樹脂コンパウンド、各種樹脂用着色剤、インキ塗料用着色剤、電子材料用着色剤液体分散体などの製造、販売を行っております。
- **資本金** 14億8,115万円
- **株式** 東京証券取引所市場第二部上場
- **主要な事業目的**
 1. 各種樹脂、ゴム、繊維等の着色剤の製造および販売
 2. 各種樹脂の加工および販売(樹脂コンパウンド)
 3. 各種着色剤の製造および販売
 4. 各種インキ、塗料とそれら関連材料の製造および販売

●役員ならびに執行役員 (2017年6月29日現在)

取締役社長	社長執行役員	加藤 龍巳	経営全般・内部監査室・購買部担当
専務取締役	専務執行役員	井手 讓司	経営管理本部・総務部・経理部・海外事業管理、 法務コンプライアンス統括室・品質保証室担当
取締役	執行役員	平岡 正彦	生産本部長、中国事業担当
取締役	執行役員	今井 信一	総務部・経理部・システム部担当
取締役	執行役員	宮本 康弘	営業本部長兼営業管理部長
取締役	常勤監査等委員	三輪 幸一	
社外取締役	監査等委員	鈴木 道弘	
社外取締役	監査等委員	原田 尚知	
上席執行役員		武田 聡	購買部長
上席執行役員		綾 義弘	開発本部長
執行役員		川原 伸二	
執行役員		古賀 義隆	営業本部副本部長
執行役員		田中 淳	生産本部副本部長
執行役員		光枝 孝宗	営業本部 樹脂コンパウンド統括部長
執行役員		田代 喜一	経営管理本部長兼経営企画部長
執行役員		至田 順彦	生産本部副本部長兼埼玉川本工場長

●国内拠点・海外拠点

- **本社**
 - ・東京 (千代田区)
- **国内生産拠点**
 - ・埼玉川本工場 (埼玉県深谷市)
 - ・大阪工場 (大阪府柏原市)
 - ・東京ピグメント(株) (埼玉県熊谷市)
 - ・ニッピ化成(株) (埼玉県熊谷市)
 - ・名古屋ピグメント(株) (愛知県犬山市)
 - ・大阪ピグメント(株) (奈良県大和郡山市)
- **営業拠点**
 - ・東京 (千代田区)
 - ・大阪 (大阪市中央区)
 - ・名古屋 (名古屋市中種区)
- **海外**
 - ・Nippon Pigment (S) Pte. Ltd. (シンガポール)
 - ・Nippon Pigment (M) Sdn. Bhd. (マレーシア)
[Head Office and Shah Alam Plant]
[Penang Plant]
 - ・P.T.Nippisun Indonesia (インドネシア)
 - ・天津碧美特工程塑料有限公司 (中国)
 - ・NPK Co.,Ltd. (韓国/持分法適用関連会社)
 - ・上海新素材特種聚合物有限公司 (中国/持分法適用関連会社)

株式の概要 (2017年3月31日現在)

●株式の状況

●発行可能株式総数	30,000,000株
●発行済株式総数	15,758,994株
●自己株式数	54,039株
●株主数	1,994名

●大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
日本ピグメント取引先持株会	1,509千株	9.58%
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	780	4.95
株式会社十六銀行	698	4.43
日本化薬株式会社	519	3.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	501	3.18
東京海上日動火災保険株式会社	492	3.13
株式会社資生堂	491	3.12
三井住友信託銀行株式会社 (常任代理人 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)	438	2.78
東シ株式会社	358	2.28
長瀬産業株式会社	326	2.07

株主メモ

- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
- 証券コード 4119
- 単元株式数 1,000株
- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月中
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 単元未満株式買取手数料および買増手数料
無料
- 公告掲載方法 電子公告といたします。
当社ホームページアドレス
<http://www.pigment.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。)

【株式に関するお手続きについて】

○証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ ご照会の内容	○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定 等
留意事項	未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

○特別口座に記録された株式をご所有の株主様

お手続き お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
手続用紙の ご請求方法	音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
お手続き・ ご照会の内容	○特別口座から一般口座への振替請求 ○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定 (*) ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。 売却するには、証券会社等に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選択いただけません。

株主のみなさまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で贈贈 (図書カード500円) を進呈させていただきます。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4119

いいかぶ

検索



空メールにより URL 自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media (イー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

● アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



日本ピグメント株式会社

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町三丁目20番地

TEL 03-6362-8801 FAX 03-6362-8808

<http://www.pigment.co.jp/>



UD FONT

この報告書は、環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しております。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。